



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3 *Real Happiness is Helping Others* まことの幸福は人助けから
1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の例会

4月2日 第316回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ

「住環境そして都市のイメージ」

当クラブ会員

株式会社広瀬建築事務所代表取締役

広瀬 哲久君

●先週報告

3月26日 第315回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ

「高速道路から超高層ビル —建設事業の周辺で30余年」

(株)日刊建設通信新聞社代表取締役社長 相澤 成憲君 (当クラブ会員)

■会長報告

①地区大会実行委員長安田義雄氏 (ホストクラブ東京大森RC) から、3月12日と13日に開催された地区大会への協力に対しお礼状をいただきました。

②「ロータリーの手引」改訂版ができました。希望者には実費500円でおわけします。

■国際奉仕委員会 (後藤委員長)

① 当クラブでお世話している米山奨学生李榮洙さんへの奨学金支給が94年3月まで延長されました。

② ロータリーレートが4月1日から1ドル118円になります (現行125円)。

■慶事披露 お誕生日/二宮 利泰君 (3月27日) 佐々木 忠行君 (3月30日)

100%出席/二宮 利泰君 (6年)

■出席報告 会員70名中 出席54名、欠席16名 (内出席免除者2名) / 3月19日修正出席率90% / ビジター (都内11名、敬称略) 高木 彦二 (東京)、沼生 智 (東京中央)、真下 孝男 (東京芝)、赤浦 修・Ambrosius・藤原 有三・松本 栄・松方 清・西山 巖・H.Sctmidt・山内 豊功 (以上東京南)

●第14回食べ歩きの会報告

参加者 (敬称略)

青野夫妻、荒木夫妻、平井夫妻、伊部、入沢、石坂、石束夫人、岩瀬、加藤、河原、河合夫妻、川鍋、宮本、宮武夫妻、西澤夫妻、斉藤、佐々木夫妻、佐藤夫妻、関、柴本、柴田、田島、高須、田中、渡部、渡邊、横山、吉田、以上36名

久しぶりの食べ歩きの会を、3月23日(火)に、横浜中華街の順海閣本館で開催しました。

当日は天気も良く、夕刻少し早く横浜に着かれた方は、散歩気分であらゆるお礼とご挨拶に始まりました。会は定刻の6時30分に開始。まず柴本会長の、数多いご参加のお礼とご挨拶に始まりました。続いて田島会員から、中華街のなつかしい思い出話のあと、カンパニー!! さらに順海閣の呉社長のご紹介 (宮本代表世話人のご学友で、昔はよくラーメンをご馳走になったとか) があり、苦勞して崎陽軒のしゅうまいをつくられ、人脈とお人柄も手伝って、ここまで店が大きくなったそうです。

満席の4つのテーブルには、まずさっぱり塩味の鯛のさしみが運ばれ、次に呉社長の好意で、こんがり焼けた皮が美味しい子豚の丸焼きがサービスされました。ついで、北京ダック、ブロッコリーと3種の海鮮、カニ入りフカヒレスープ、エビの巻揚げ、ナマコとアワビの煮込み、伊勢エビの炒め物、ハスの葉包みもち米ご飯と、シェフの腕自慢が次々と運ばれました。

美味な中華料理の数々とお酒で、すっかりなごやかな雰囲気になり、いつもの例会とは違うダジャレや一歩はずれた(?)話もあちこちに飛び出し、会員間や奥様方との親睦もはかれ、非常に意義深い食べ歩きの会になったと思います。

そして最後に河合親睦委員長の機知に富んだ料理の講評と三三七拍子の手締めで、9時に1次会は解散。続いて、有志とお好きな方11名で、呉社長のお姉様の店で2次会のカラオケ大会。1次会の乗りそのままに美声競演。その才能には、信じがたいものがあったそうです。

無事終わって、横浜を吹く春の夜の爽やかな風を顔にあて、皆さん満足、満腹で帰路につかれたことでしょう。世話人の方々はじめ、皆さんご苦勞さまでした。 (まとめ関会員)

●次回予告

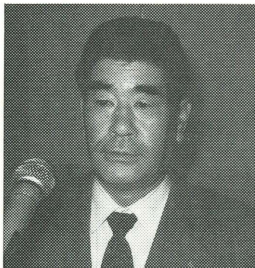
4月9日 第317回例会

■第5回クラブ協議会/例会に引き続き 13:00~14:30

テーマ「大勢の新しい会員を迎えてどう友好を深めるか」

●卓話 3月26日

高速道路から超高層ビル —建設事業の周辺で30余年



当クラブ会員 相澤 成憲

48年前焦土と化した日本で、バラック住宅、木造の事務所、学校などの建設からスタートした建設事業も、いまや鉄道は四つの島を縦断し、高速道路も縦横にはりめぐらされ、都市には超高層ビルが林立し、ダムによってつくられた湖水は、各地で憩いの場所となり、水力・火力・原子力による発電で十分に電力が供給され、今日の経済発展と豊かな生活を支えています。これらを可能にしたのは、この世界でたゆまぬ技術開発とそこに従事した多くの人々の大変な労苦があります。しかし、戦後の建設技術のスタートはアメリカからもたらされました。土木では昭和28年から31年にかけて建設された「佐久間ダム」の本格的な大型機械導入による施工技術、建築では沖縄で建設された米軍宿舎での体験であるといわれています。同時に各分野での産業技術の発展もあります。昭和39年全線開通した「名神(小牧～尼崎)」の開通式のとき、外車の群の中で肩身を狭く、見すばらしく、そして高速走行未経験でオーバーヒートして、路肩に止まっていた日本の車も、今や世界を席卷しています。日本最初の超高層ビル「霞が関ビル」(昭和43年)も、ちょうどその時期に実用化を迎えた電算機や製鉄技術、高品質の鉄鋼材が使えなければ、建てられなかった、といわれます。20年の年月をかけて開通した「青函トンネル」に殆どの人生を費やした人。豪雪の黒四ダムで苦闘した人。ダムに始まりダムで定年となった人々。それらの事業で犠牲となった人々。数多くの人々が日本の建設事業を育ててきたのです。そして今、関西新空港、東京湾横断道路、リニアカー建設などのプロジェクトが進められつつあります。そして大手ゼネコンからは高さ2,000m～1,000mという未来都市構想の提案が行われています。これらはいずれも実現するでしょう。なぜなら20世紀に入った直後の1903年1月3日の報知新聞が予測した夢「高速鉄道と道路」「ロケットの実用化」「TVの登場」「高層ビル」などは、今ではなんでもない時代なのですから。

●第2750地区「千代田 分区」ゴルフ大会報告

さくらが咲き始めた3月25日(木)、クラブハウスが新しくなった霞ヶ関カンツリー倶楽部で、12クラブが参加して千代田分区のゴルフ大会が行われました。当日は、天気は良かったのですが風が強く、皆さんスコアメイクには苦労されていました。当クラブからは、斉藤、小西、田中、後藤、相澤の各会員と私(関)の6名が参加。プレー後のコンペで表彰が行われ、当クラブはおしくも団体4位でした。(決勝進出は3位までで、5名の合計スコアでわずか1ストローク差) 団体優勝は、中央RCで、個人優勝は、日本橋西RCの福本さんでした。お疲れさまでした。(まとめ関会員)



順不同、敬称略

3月26日●19件／¥60,000

多額のご寄付をありがとうございました。

本年度累計／¥1,862,758

●相澤 成憲／イニシエーションスピーチよろしくお願いします。●馬場 博一／長い間勝手しました。お蔭様で元気になりました。●柴藤 清三郎／良い季節になりました。●渡部 一元／来週から米国のビジネススクールで日本経営論の講座を担当します。●後藤 信夫／分区のゴルフ予選会3位入賞はたせませんでした。●宮本 正祥／食べ歩きの会ご出席ありがとうございました。●川鍋 二郎、入沢 頼二、石束 嘉男、伊部 和夫、岩瀬 秀郎、渡邊 治／食べ歩きの会でお世話になりました。●永井 克彦、松原 秋夫／食べ歩きの会欠席してすみません。●青野 信次／関さんありがとうございました。●沖 宏之／小澁先生、宮本さんありがとうございました。●斉藤 茂之／青野さんありがとう。●山下 忠治／佐々木さん、荒木さん、写真ありがとうございました。●柳澤 昭雄／ニコニコBOX初めて担当します。

●東京新南ロータリー クラブ4月行事予定

4月はロータリー雑誌月間です。

- 2日(金) 本年度新年度合同理事会 例会後 13:40～15:00 東京全日空ホテル1F「朱鷺の間」
- 6日(火) 火曜会 17:30～19:30 東京全日空ホテル37F スカイバー・アストラル(ベイウイング)
- 8日(木) 第2750地区会長会 14:00～17:30 大森東急イン5F
- 9日(金) 第5回クラブ協議会 例会後 13:00～14:30 東京全日空ホテルB1「八雲の間」
テーマ「大勢の新しい会員を迎えてどう友好を深めるか」
第2回地区ロータリー情報委員長会議 14:00～19:00 大森東急イン5F
- 15日(木) 会長エレクト研修セミナー 13:00～19:00 パレスホテル
第21回東京新南ゴルフコンペ 桜ヶ丘カントリークラブ
- 17日(土) 92年派遣学生帰国報告会及び歓迎会 13:00～20:30 日本青年館
- 30日(金) 休 会

東京新南ロータリークラブ

会長：柴本芳郎 副会長：宮武保義 幹事：入沢頼二
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

青野 信次、新保 國彦、田中 武
荒木 昭文

●4月度編集担当者／大日方 真

●卓話テーマ翻訳／渡部 一元

●印刷／豊園堂印刷(株)